



小森谷 博之 議員



### メタバース活用によるまちづくりについて

**問** 古河市でのまちづくり、特に関係人口を増やすために今後のメタバース（アバターを使って人と交流などを行える仮想空間）活用の可能性について伺う。

**答（副市長）** 国のガイドラインや支援策等の動向を踏まえ、交付金を活用し、市の魅力発信、課題解決等の検討を進めていく。

**答（企画政策部長）** DX推進と絡めた施策の手段として、可能

性が多いにある。他自治体の参考事例等について情報収集し、研究を進めていきたい。

### 自治組織によるまちづくりについて

**問** 古河市において、行政自治会への加入率を上げるためにどんな取り組みをしているか伺う。

**答（市民部長）** 転入、転居の届出提出時に加入促進の案内チラシを配布し、市のホームページにも案内を掲載している。

### 雨に強いまちづくりについて

**問** 災害に対する危機意識の薄れている今だからこそ、次の大きな災害が起きる前に早急に計画的な浸水対策を進めてほしい

と考える。そこで、下水道における今後の具体的な浸水対策計画を伺う。

**答（上下水道部長）** 令和5年3月に策定した古河市雨水管理総合計画の中で、古河駅を中心とした615.87ヘクタールを最優先対策地区と設定した。その中で北町第一調整池を有効活用するべく、古河第一中学校北側周辺地区の整備を進める。令和6年度に基本設計、令和7年度に詳細設計、令和8年度から工事実施を計画している。



青木 和夫 議員



### 「華のある都市 古河」づくりについて

**問** ①人口減少問題の取り組みについて②新市街地の構想について③公共施設の今後について④新たな財源確保について

**答（市長）** ②古河駅東部エリアと大堤エリアの2つは、さらなる活性化を担う場所として期待している。市の力だけでなく、広く民間の知恵と資金を活用し、持続可能なまちづくりに取り組む。市民に古河市はよくなった

と感じてもらえるよう目標を高く持ち、市民の声を聞きながら、取り組んでいきたい。

**答（企画政策部長）** ①官民連携により、地域経済の好循環と新たな雇用の創出を目指す。また、住宅奨励金制度を新設するなど移住定住施策を推進していく。④安定した恒久財源を生み出すためには、企業誘致が有効である。今後、開発エリアの拡大も視野に入れ検討を進める。

**答（財政部長）** ③1つの建物にさまざまな機能を集約するなど、施設を有効活用することが重要と考えている。



### 道路行政について

**問** ①都市計画道路を見直した結果は②新設道路の計画は③陳情道路の取り組みと計画は

**答（都市建設部長）** ①国、県との協議に期間を要し、遅れが生じている。調整が整い次第、住民説明会など必要となる手続きを進めていきたい。②令和6年度からは都市計画道路桜町上辺見線に着手し、国道4号西側の未整備区間の整備を進める。③現地確認後、緊急性等を勘案し優先順位を付け、整備を進めている。令和6年度は、新たに9路線の整備を進める予定である。